

北陽台だより 第317号

# 青い波北陽台

令和7年3月6日 発行  
長崎県立長崎北陽台高等学校  
西彼杵郡長与町高田郷3672  
TEL 095-883-6844  
FAX 095-883-0776  
発行責任者 大川周一

## 「終わりなき旅」

三丸孝彦

44回生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業式を迎える皆さんの姿を見て、教頭として心から誇らしく思います。2年前、長崎北陽台高校に赴任して初めて皆さんと関わり始めた頃は、まだ少し幼さの残る表情をしていましたが、今の皆さんは大人びた表情を見せ、これまでの努力と成長がその姿に現れています。

皆さんとの思い出は2つあります。1つ目は、数学での関わりです。この2年間、私は数学の授業や講座に時々行かせていただきました。授業をする際は事前に予習をしてどんなことを伝えていか考えますが、その時間がとても楽しみで、実際に授業に行くと、皆さんが真剣に話を聞いてくれてとても嬉しかったです。2つ目は、2年生の時に一緒に訪れたシンガポールの修学旅行です。シンガポールの歴史や文化に触れ、街並みを一緒に歩き、マーライオンを見て驚き、異文化に触れたあの日々が、皆さんの心にも特別な記憶として残っているのではないのでしょうか。私は、毎日校内で皆さんのキラキラと輝く笑顔を目にするたびに、教師としてのやりがいを強く感じていました。

これから皆さんは、新たな環境でそれぞれの道を歩んでいきます。その道のりは決して平坦ではないかもしれませんが。時に迷いや苦しみを感じることもあるでしょう。しかし、そんな時には、Mr.Childrenの「終わりなき旅」のこの歌詞を思い出してください。

"高ければ高い壁の方が 登ったとき気持ちいいもん まだ限界だなんて認めちゃいないさ"

私は新規採用教員として初任校に赴任し、2年目に初めて担任を任されましたが、クラス経営がなかなか思うようにいかず悩むことがありました。その時、自身を奮い立たせるためにこの曲をよく聞いていました。どんな困難も、自分の成長の糧となるものです。今の自分には越えられないと思える壁も、決して諦めることなく挑戦し続ければ、きっといつか乗り越えられる日が来ます。その先には、今まで見たことのない景色が待っているはずですよ。

皆さんのこれからの人生は「終わりなき旅」です。新しい出会い、学び、そして挑戦が、皆さんの未来を彩っていくでしょう。一步一步、確実に自分を信じて歩いてください。そしていつかまた、皆さんの成長した姿を見られることを楽しみにしています。



## 3月の主な行事予定

- 1日(土) 第44回卒業証書授与式
- 3日(月) 3年中後期指導 ~11日
- 4日(火) 到達度テスト(1・2年)
- 6日(木) 文理探究科研究発表会
- 7日(金) 2年普通科総探成果発表会
- 10日(月) 校内競技大会
- 12日(水) 長崎外国語大学研修発表会(1年文理探究科)
- 17日(月) 代休(3/22分)
- 18日(火) 教科書販売 第1回合格者オリエンテーション
- 22日(土) 文化発表会
- 24日(月) 大掃除 終業式・離任式



## 【2学年文理探究科 新宮高校理数科との交流学習会】

2月26日（水）に2学年文理探究科（理数探究）が福岡県立新宮高等学校を訪問しました。交流は9月以来2回目となり、今回は本校で課題研究中間発表会を行いました。

午前中に各校代表2班による口頭発表を行い、午後からは4会場に分かれて、班ごとの研究発表を行いました。半年の研究活動を重ね、内容や思考の深まり、質問への受け答えや発表態度など、互いの成長した姿に刺激を受けたようでした。

今回多くのアドバイスをいただき、自身の研究に対してこれまで気づかなかった新たな視座を得ることができ、客観的に考えるきっかけになったようです。とても充実したプログラムとなりました。

次はいよいよ3月6日（木）の校内発表会です。生徒たちは最高のプレゼンを創り上げようと、ぎりぎりまで修正・準備を頑張っています。



## 【理数科閉科式】

2月28日(金)理数科の閉科式が執り行われ、理数科20回生である44回生の卒業と共に、理数科の歴史に幕を下ろしました。

式では、これまでの理数科のあゆみがスライドショーで上映され、理数科代表の3年8組石井琴音さんが挨拶を行いました。

### 理数科20回生からのメッセージ(抜粋)

・理系の未来を沢山感じられた3年間でした。中学生のころの理系に行きたいという漠然とした目標が、今ではもっと細かくて明確な夢となりました。3年間同じ時間を過ごした仲間との思い出は、誰にも負けない濃いものになったと思います。理数科で高校生活を送れて、本当に良かったです。

・理数科では、たくさんの研修に参加しました。本物に触れ、自分の視野を広げることができました。理数科が閉科してしまうのは寂しいですが、文理探究科になって、さらに活躍の場を広げてくれると期待しています。

・理数科に来てよかったことは、物事の見方が変わった、ということです。何事にも批判的な目を持つようになり、根拠を追究する「理詰め」の意識を養うことができました。これから社会で生きていく中で重要な能力なので、高校生のうちに身につけられたことは大きなアドバンテージだと思います。

・東京研修や長大医学部研修などを通して「本物」に常に触れ続けられる環境は、他の学校や普通科では経験することができない、本当に貴重な思い出です。課題研究を通して身の回りの課題に真剣に向き合い続けられる環境づくりは、大学での研究にも通じる非常に有意義な時間でした。クラスの仲間も非常に優秀で、多くの人が他の人の努力を尊重したり、互いに教え合うことができ、自分の進路実現を後押ししてくれる最高のクラスでした。文理探究科になっても、生徒の夢の実現の手助けをする場であり続けてほしいと心から願っています。最後の理数科生として最高の仲間と過ごせて良かったです。ありがとうございました。



## 2年生0学期の過ごし方

1学年 松田 加保里

今月は、定期試験、大雪での休校など、天気や行事が盛りだくさんの慌ただしい2月でした。一方で、高校入試期間は、連休や代休を含めると8連休になった人もいるでしょう。連休中はどのようにお過ごしでしたか？友達と青春を謳歌したでしょうか。それとともに、家庭学習にもしっかり取り組めたでしょうか？

この期間、3年生は国公立大学の二次試験を迎えました。君たちも二年後、いよいよその本番に向かいます。あと二年というと、まだ長いように感じますが、入試本番までたったの720日です。家庭学習が1日1時間の場合、入試本番まで720時間しか勉強をしないことになります。720時間って、実は30.4日分しかないのです。1か月に満たない学習時間で本番に臨む。これではちょっと、心配です。

例えば、大学入試に必要な英単語の目安は4,000~6,000語とされています。中学までに1,700語程度、高校の授業で2,300語程度、合わせて4,000語となるのですが、難関大学を志望する人はさらに2,000語加えて6,000語です。1日10個覚えても600日必要です。当然、何回も振り返りたければ分量を増やさないとはいけませんし、忘れてしまう単語を覚えなおすためには、もっと時間をかけなければなりません。さらに2年生では、1年生の時までに強化してきた国語・英語・数学に加え、より難易度が上がった理科・社会の勉強も必要です。さて、どうしましょう。

だからこそ、3月の過ごし方がカギになるといっても過言ではありません。春休みの少し時間的余裕ができる時期に、1年生の総復習や新規に導入されるスタディサプリなどを活用して、苦手科目に挑戦してみたいかがででしょうか。あなた自身が自ら踏み出したその一歩は、やがて道を切り拓く大きな一歩です。4月に温かく後輩を迎えるためにも、1年生の積み残しに向き合いましょう。

## 高校2年の冬から春に

2学年 山下 しおり

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言いますが、今年の2月は特にあっという間だったのではないのでしょうか。皆さんの顔を見られたのはたったの13日。うち4日は試験で、1日は会場設営でしたから、ほとんど授業ができず寂しい思いをしました。この2月、自分の時間を有意義に使えましたか？

正直に言って、今月は皆さんとのこれといった思い出がありません。代わりに、私の高2の冬～春を思い返してみました。思い出に残っている言葉が二つあるので皆さんにご紹介しますね。一つは、2016年に放送されたドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」の中から。恋ダンスが大流行したあの頃、私も毎週楽しみに見ていました。名言の多いドラマですが、その中でも主人公の母が結婚生活に悩む主人公に向けて言った「運命の人なんていない。運命の人にするの」というセリフが印象に残っています。もう一つは、当時の学年主任が集会の中で話していた「自分の今いる環境を最高のものだと思いなさい」という言葉です。自分はここにいるべきでない人間だと思っているとなかなかうまくいかず、力を発揮することはできないから、今の環境が最高だと信じて過ごしなさい、という話の内容だったと記憶しています。

なぜ、この二つの言葉が印象に残ったのでしょうか。それは、どちらにも「自分の今置かれている環境を自分の意志でよりよいものにしていこう」というメッセージが込められているからだと思います。皆さんは、これからいよいよ受験生になり、進路を決定していく時期です。高2の私も、皆さんと同じように受験生になってやっていけるだろうか、どこに向かっていけばよいのだろうかと不安を抱えていました。その不安が晴れることはなかなかありません。むしろ、一生懸命になればなるほど湧いてくる不安かもしれません。しかし、今いる場所を信じ、自分の選んだ環境を信じ、よりよいものにしていこうという意志を忘れなければ、きっと充実した日を過ごせるはずです。皆さんが長崎北陽台で過ごすのも残り1年です。そして、自分が選んだ道にそれぞれ進むまであと1年です。1年後、長崎北陽台に来てよかった、自分が選んだ道でよかった！と思えるように、意志をもって道を拓いてほしいと願っています。パワフルな皆さんならきっとできるはず。応援しています。頑張れ45回生！

～44回生 卒業おめでとう～

第3 学年 川崎 健太

44回生のみなさんご卒業おめでとうございます。みなさんと3年間関わることができて本当によかったです。思い返すとこの3年間様々なことがありました。ここでは一つひとつ触れませんが、どれもよい思い出です。カリキュラムの変更や大学入学共通テストの科目変更など、変化に対応する3年間でもありました。そのような中でもみなさんは立派に対応し、たくましく成長しました。北陽台で学んだことを糧に、自信をもって頑張ってください。今後の活躍を期待します。また、保護者のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございます。学校におけるさまざまなご支援とご協力に感謝いたします。18年間、ご家庭ではさまざまご苦勞があったかと思えます。お子様は立派に成長いたしました。お子様の成長に微力ながら関われたことに嬉しく思います。誠にありがとうございました。

さて、44回生のみなさん、明るい未来を想像できていますか。不安でいっぱいかもしれません。みなさんが感じていること、考えていることは皆正解です。自分の考えをもち、他者と少し調整し、お互いに寛容な心で接してみましょう。余裕をもつことを学びましょう。私もまだまだ学び続けます。それぞれ活躍する場は異なりますが、ともに頑張りましょう。最後に、最高の44回生のみなさんに出会えたこと、関われたことに心から感謝します。ありがとう。

